

平成三十年

下半期の天神さん

岩津の天神様の御加護のもと
齋行した夏以降のお祭です



六月二十四日 夏越の祓い 輪くぐり神事 大祓式

最近の夏は台風が頻発し、各地に被害をもたらしています。輪くぐりの前後も不安定な天候でしたが、当日は久しぶりの好天を得て、夏を迎える神事「夏越の祓い・輪くぐり神事」を無事執り行いました。
職員手作りの茅の輪が境内に彩りを添え、夏の健康と本年後半の無病息災を祈りながら茅の輪をくぐりました。そして、夕刻よりは、大祓式を執り行いました。正月より半年間の罪とけがれを祓う神事です。



大祓式の後
曲水の庭で「ひとがた」を流す
服部宮司



七月十八日 長七忌 道具供養祭

岩津天神中興の祖・服部長七翁の偉業を偲ぶお祭りと共に、社務所豊楽の間では、長七翁ゆかりの資料を展示いたしました。
本年平成三十一年は、長七翁が大正八年七月十八日に帰幽してより百年。岩津天満宮では、長七翁百年祭として記念の事業を予定しています。

九月二十三日 正五九参り



古来より、年の始めの正月、田植えの五月、そして実りの九月は神様の力が特に高まる時と言われています。
岩津天満宮ではこの正五九に特別祈禱を齋行し、岩津の天神様の特に強い靈験をお授けします。合格祈願を始め、健康祈願、厄除、方除などのご祈禱も受けられます。
当日は、宮司自ら奉仕し御宝印を授ける「宝印の儀」や御神前鳥居くぐりも特別に行います。
平成三十年は、一月二十一日（日）、五月二十七日（日）にも齋行いたしました。



筆供養神事を終え
参列者一同で記念写真

秋晴れ好天に恵まれ、筆供養神事、大筆奉納行列、張り子の大筆お焚き上げなど、「筆まつり」は滞りなく齋行されました。お楽しみ天神福引き大会には、朝早くから行列が出来、多くの参拝の皆さんが詰めかけました。恒例の岩津天神太鼓の奉納演奏も威勢良く、境内は終日賑わいを見せました。



八月のご縁日は、夏の名残を多くの皆様の願いが託された竹雪洞の明かりとともに楽しむ「献燈祭」が執り行われました。
岡崎呉服協同組合のご協力のもと、数年前より浴衣で楽しむ献燈祭も定着し、境内には様々な浴衣姿が多く見られるようになりました。
余香殿なおらいで催される「宵のピア処」に出演する皆さんによる奉納行事も加わり、年に一度の天神さんの宵宮まつりに彩りを添えました。



十月二十八日 筆まつり

十月二十七日・二十八日 岩津天満宮 献書展



岩津天満宮社務所飛梅殿・玄関及び講書の間ホールでは岡崎市内や近隣の書道塾、一般の皆さまよりお寄せ頂いた「〇〇〇点以上の書道作品を展示しました。
◎特別賞入賞者は十一頁にご紹介しています。



張り子の大筆お焚き上げ

竹雪洞に明かりが灯された境内では、瀬尾幸恵さん・村主博さんのフラダンスと、岡崎出身のボサノバ歌手、犬塚彩子さんのボサノバ奉納が行われました

